

農地中間管理事業評価委員会開催概要

1 開催日時 平成28年6月24日(火) 15:00～16:30

2 開催場所 兵庫県農業共済会館4階第3会議室
神戸市中央区下山手通4丁目15-3

3 出席者

(1) 農地中間管理事業評価委員会委員

区分	氏名	所属・職名	出欠
委員長	草 苺 仁	神戸大学大学院農学研究科教授	出席
委員	藤 本 和 弘	兵庫県農業会議会長	出席
委員	浜 田 充	兵庫県農業協同組合中央会専務理事	出席
委員	丸 井 宏 文	兵庫県稲作経営者会議会長	出席
委員	藤 本 弘 文	兵庫県集落営農組織ネットワーク協議会会長	欠席

(2) 陪席者

所属	職名	氏名	備考
神戸大学大学院農学研究科	研究員	住 本 雅 洋	ほか7名

(3) 農地中間管理機構（公益社団法人兵庫みどり公社）役職員

役職名	氏名	備考
副理事長(農地中間管理事業担当)	三 浦 恒 夫	
農地活性化部長	菅 村 哲 也	
参事(農地集約推進担当)	萬 谷 信 弘	兵庫県農業経営課長
農地管理課長	木 元 悦 也	
課長(農地集約推進担当)	上 田 猛	兵庫県農業経営課主幹
課長補佐	枝 川 利 雄	
課長補佐	豊 住 泰 久	
課長補佐	近 木 雅 子	兵庫県農業経営課主査

4 議事概要

(1) 前回の評価結果を踏まえた平成27年度の取組について

(2) 平成27年度の取組の評価について

(3) 平成28年度の推進方針及びスケジュールについて

5 評価委員会の意見

農地中間管理事業の推進に関する法律第9条の規定に基づき、兵庫県農地中間管理機構から、平成27年度の農地中間管理事業の実施状況について説明を受け、委員相互の意見交換等を踏まえ、下記のとおり評価及び意見する。

記

1 平成 27 年度の取り組みについて

平成 26 年度に始まった農地中間管理事業については、初年度は、全て手探りのスタートであったが、貸付面積 408ha、マッチング面積を含めると約 1,200ha と「確かな一歩」を踏み出した。

平成 27 年度は、昨年度指摘した①効果的な広報活動、②事業推進で得られたデータ分析、③貸付可能農地の明確化、④事務処理改善等の課題に取り組むとともに、機構集積協力金を最大限に活用した結果、2,235ha を担い手に貸し付けし、着実に成果を上げている点は評価できる。

一方、実績の約 7 割が集落営農法人への貸付であるが、県内の集落営農法人 96 法人のうち既に、74 法人が事業活用しており、今後は約 900 ある任意団体の集落営農組織の法人化を進めることが重要である。

また、農業参入を希望する企業などからの借受希望が多く寄せられているものの、実際に貸し付けできたのは小面積にとどまっている。

さらに、農業者への制度周知は、引き続き年間を通じてきめ細やかで効果的な広報活動を実施し、特に出し手農家に対し、より一層の浸透を図っていく必要がある。

2 今後重点的に取り組むべき事項

農地中間管理事業を活用して、兵庫県農業の構造改革を進めるには、地域における「人と農地の問題」を包括的・具体的に検討し、問題の改善・解決を目指す必要がある。

そのため、以下の事項に重点的に取り組むべきである。

- (1) 年間を通じた効果的な広報活動の継続
- (2) 農地利用の最適化に取り組む農業委員会との連携強化
- (3) 市町、農業委員会、JA 等との連携による出し手農家への情報提供の強化
- (4) 円滑なマッチングを進めるための土地改良事業との連携強化
- (5) 事業推進の過程で得られたデータの詳細な分析に基づく現場活動の推進
- (6) 耕作放棄地を含めた貸出可能農地の掘り起こしと企業等への積極的な情報提供
- (7) 正確で効率的な手続を実現する事務処理システムの適切な運用
- (8) 機構が取り扱う膨大な農地の適切な管理体制の構築